

世論調査報告書  
平成13年5月調査

# 自然の保護と利用に関する世論調査

# I 調査の概要

- 1 調査目的 自然の保護と利用に対する国民の意識を把握し、今後の施策の参考とする。
- 2 調査項目 (1) 自然に関する意識  
(2) 自然公園に関する意識  
(3) 野生生物の保護と対策に関する意識  
(4) 移入種対策に関する意識  
(5) 自然保護に関する意識  
(6) 自然保護活動への参加に関する意識  
(7) 国や地方公共団体への要望
- 3 調査対象 (1) 母集団 全国20歳以上の者  
(2) 標本数 3,000人  
(3) 抽出方法 層化2段無作為抽出法
- 4 調査時期 平成13年5月24日～6月3日
- 5 調査方法 調査員による面接聴取
- 6 調査実施委託機関 社団法人 新情報センター
- 7 回収結果 (1) 有効回収数(率) 2,072人(69.1%)  
(2) 調査不能数(率) 928人(30.9%)  
—不能内訳—  
転居 88 長期不在 60 一時不在 330  
住所不明 18 拒否 397 その他 35  
(病気など)

## 8 性・年齢別回収結果

性・年齢		標本数	回収数	回収率	性・年齢		標本数	回収数	回収率
				%					%
男 性	20～29歳	190	96	50.5	女 性	20～29歳	218	126	57.8
	30～39歳	232	125	53.9		30～39歳	256	183	71.5
	40～49歳	271	170	62.7		40～49歳	288	207	71.9
	50～59歳	332	207	62.3		50～59歳	345	262	75.9
	60～69歳	252	189	75.0		60～69歳	239	204	85.4
	70歳以上	186	144	77.4		70歳以上	191	159	83.2
計		1,463	931	63.6	計		1,537	1,141	74.2

Q13 (回答票18) 農山村地域では、カモシカやニホンザルなどの野生生物による農林作物などへの被害が増えており、その対策が大きな負担となっています。あなたは、これらの被害を防止するために行う防護柵の設置や駆除などの費用負担はどうあるべきだと思いますか。この中から1つだけお答えください。

- (4.1) (ア) 個人の財産を守るのだから、農家などが自ら負担すべきである
- (51.0) (イ) 農家などが自ら負担するのが原則であるが、それには限度があるので、費用の一部を国や地方公共団体で負担するのはやむを得ない
- (38.9) (ウ) 野生生物は国民共有の財産であるので、その保護や管理のための費用は国や地方公共団体で負担すべきである
- (0.1) その他 ( )
- (5.9) わからない

Q14 (回答票19) 近年、マングース、アライグマ、ブラックバス、カミツキガメなど、本来の生息地外へ持ち込まれた「移入種」により、希少な野生生物が食べられたり、人への危害を与えるなど、地域の生態系や自然環境に影響を与えるという問題が全国各地で見られます。この「移入種問題」について、あなたは知っていますか。この中から1つだけお答えください。

- (21.8) (ア) よく知っている
- (36.6) (イ) 知っている
- (20.9) (ウ) 言葉は聞いたことがある
- (19.3) (エ) 知らない
- (1.4) わからない

Q15 (回答票20) 本来の生態系を守るため、移入種(本来、特定地域にしか生息していないはずの動植物)の他の地域への持ち込みを制限することについてどのように考えますか。この中から1つだけお答えください。

- (54.8) (ア) ぜひ持ち込み制限はすべきである
- (33.3) (イ) できれば持ち込み制限はしたほうがよい
- (3.6) (ウ) できれば持ち込み制限はしないほうがよい
- (2.0) (エ) 持ち込み制限はすべきではない
- (0.1) その他 ( )
- (6.1) わからない